

第 19 回琉球物性研究会プログラム

日時：2019 年 11 月 23 日（土）

場所：琉球大学 理系複合棟 102 教室

1. はじめに（実行委員長） 9:00-9:05

【希土類化合物と磁性 1】 （座長：小林理気） 9:05 - 10:20

2. 椎名亮輔（琉球大理） 9:05- 9:25

「3 価近傍の Eu 系における価数ゆらぎ、スピン励起、磁性」

3. 松田進弥（琉球大院理工） 9:25- 9:40

「ユニークな幾何学構造を持つ EuT_5 (T: Cu, Au) の磁性と電子状態」

4. 比嘉野乃花（広大院先端研） 9:40-10:00

「 EuPtSi の NMR と μSR による研究」

5. 竹内徹也（阪大低温セ） 10:00-10:20

「フラックス法で育成した EuCu_2Si_2 のスピングラス」

休憩 10:20-10:30

【希土類化合物と磁性 2】 （座長：小林理気） 10:30 - 11:35

6. 本山 岳（島根大院自然） 10:30-10:50

「 Ce_3TiBi_5 における電気磁気効果の研究」

7. 坪田 棕（首都大院理） 10:50-11:05

「希土類内包カゴ状構造を持つ $\text{Sm}_3\text{Rh}_4\text{Ge}_{13}$ の強相関電子物性」

8. 仲井間憲李（琉球大院理工） 11:05-11:20

「六方晶希土類金属化合物の特異なホール効果

—磁気スキルミオン相の可能性—」

9. 太田譲二（琉球大院理工） 11:20-11:35

「 Mn_2P の単結晶育成と電子状態」

昼食 11:35-13:00

【構造と電荷秩序 1】 （座長：眞榮平孝裕） 13:00 - 14:00

10. 安富 允（琉球大理） 13:00-13:20

「流体の臨界温度直下の液化点と気化点の不在領域について」

11. 稲岡 毅 (琉球大理) 13:20-13:40
「第一原理計算による新規の炭素単原子層構造：バックリングは起こるか？」

12. 立津慶幸 (名桜大リベラルアーツ機構) 13:40-14:00
「Fe-Pd-In 新奇化合物の構造安定性に関する理論的研究」

休憩 14:00-14:10

【構造と電荷秩序 2】 (座長：安田千寿) 14:10 - 15:05

13. 青山美幸 (明大理工) 14:10-14:25
「準結晶ペンローズ模型における局在電子状態」

14. 三宅和正 (阪大先端強磁場) 14:25-14:45
「電荷近藤効果による NMR 縦緩和率の異常な温度依存性 -Pb_{1-x}Tl_xTe の場合-」

15. 開康 一 (福島県立医大) 14:45-15:05
「擬一次元導体 HMTSF-TCNQ の NMR 研究」

休憩 15:05-15:15

【アクチナイド化合物と超伝導 1】 (座長：與儀護) 15:15 - 16:10

16. 井澤公一 (阪大院基礎工) 15:15-15:35
「U_{1-x}Th_xBe₁₃ の熱ホール効果」

17. 細井 優 (阪大院基礎工) 15:35-15:50
「熱伝導率測定から見た UTe₂ の超伝導状態」

18. 播磨尚朝 (神戸大院理) 15:50-16:10
「新奇重い電子系超伝導体 UTe₂ の電子状態計算」

休憩 16:10-16:20

【アクチナイド化合物と超伝導 2】 (座長：與儀護) 16:20 - 17:10

19. 土田龍太郎 (琉球大院理工) 16:20-16:35
「Th 化合物の電子構造 -フェルミ面への f 電子の寄与について-」

20. 大岩陸人 (明大院理工) 16:35-16:50
「イジング型スピン軌道相互作用と超伝導磁化率の異方性」

21. 山内 徹 (東大物性研) 16:50-17:10
「強相関高圧下物性研究 2：交流比熱法で眺める「絶縁体-超伝導転移」2 例」

懇親会 「富久屋」 19:00 より